

生殖医療センター

➤ 2021年度 診療実績・成績

妊娠成績： ART妊娠率（胚移植件数あたり）： 30.1%

当院治療により妊娠卒業された方の主な合併症

悪性腫瘍：乳癌治療後、子宮体癌MPA治療後
白血病治療後、脳腫瘍術後、精巣腫瘍術後
子宮頸癌(Radical Tracherectomy後)
卵巣腫瘍（境界悪性腫瘍術後など）

血液疾患：特発性血小板減少症（ITP）
抗リン脂質抗体症候群 ATⅢ欠損症
フィブリノゲン異常症

自己免疫性疾患：SLE、シェーグレン症候群
関節リウマチ、皮膚筋炎

内分泌代謝疾患：糖尿病、糖原病Ⅰ型、甲状腺疾患

血管リンパ管奇形：Klippel Trenaunay症候群

婦人科疾患：OHVIRA症候群、双角子宮、帝王切開術後癒痕症候群

不育症 (ProteinS低下・頸管無力症)、子宮内膜症、巨大子宮筋腫

男性因子：無精子症 micro TESE, 精索静脈瘤 顕微鏡下低位結紮術

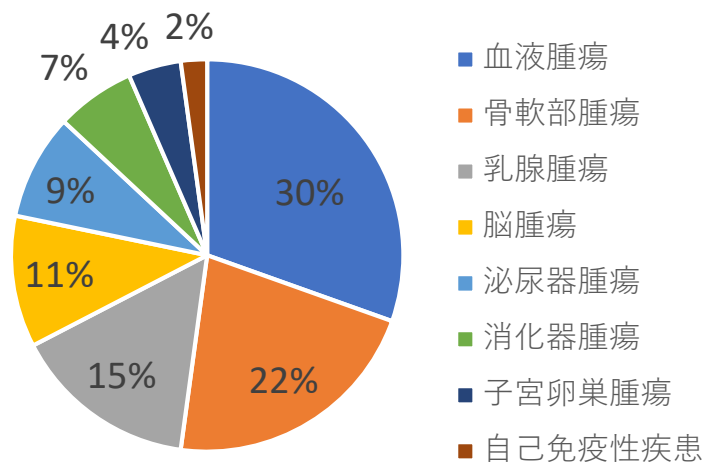
など

AMHと採卵時 平均回収卵子数

AMH (ng/mL)	回収卵子数 (個)
-0.5	1.8
0.5-1	6
1-2	9.05
2-3	13.7
3-4	24

➤ 2021年 妊孕性温存治療に関する相談・治療

原疾患の内訳



代表的な原疾患

血液腫瘍：白血病、悪性リンパ腫
骨軟部腫瘍：骨肉腫、Ewing肉腫
乳腺腫瘍：乳がん
脳腫瘍：髄芽腫 神経芽種
胚細胞性腫瘍
泌尿器腫瘍：セミノーマ、胚細胞性腫瘍
消化器腫瘍：直腸癌、大腸癌
卵巣腫瘍：境界悪性/悪性 卵巣腫瘍
子宮体癌MPA治療
自己免疫性疾患：
全身性エリテマトーデス（SLE）
皮膚筋炎

など

妊孕性温存療法の実施者の割合

妊孕性温存療法 実施/待機中	70.5%
カウンセリングのみ	29.5%

※妊孕性温存療法：「受精卵凍結」「未受精卵凍結」「卵巣凍結」「精子凍結」

医学的適応症例に対する卵巣凍結（2021年度）： 4 症例

年齢：10-18歳

原疾患：Tリンパ芽球性リンパ腫、骨肉腫、髄芽腫など

卵巣凍結時に 卵子回収 / IVM を実施

IVM 成熟率 (IVMにより成熟した卵/全IVM実施卵数)： 31.3%